

# 令和3年度 本校の研究計画

本校は平成28・29年度の研究において、アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善の工夫について取り組み、主体的・対話的で深い学びを実現するための手立てを講じ、成果を挙げてきた。30年度は、「社会に開かれた教育課程」についての基礎研究として、講師を招いて全職員で共通力をし、方向性を探った。また、家庭で子どもたちが自由に話し合う機会を設け、思考力、表現力を高める「北っ子〇〇タイム」を継続した。

令和元年度はさいたま市教育委員会から3年間の研究委嘱を受け、「社会に開かれた教育課程」の観点から、地域や保護者と連携した共通の目標に向かったの授業実践、地域の専門学校との協働によるプログラミング教育や地域のサッカーチームを題材とした授業実践に取り組んだ。



令和2年度は、新たに2年間の研究委嘱を受け、「さいたま市STEAMS教育」の研究にも取り組むこととなった。これは、実生活や実社会、今後の未来社会に対しての最適解を見出す力を育成することをねらいとしており、大宮北高校・大宮北中学校・日進中学校・大宮北小学校・日進小学校の5校グループで協力して研究を行っていく。

令和3年度は、11月17日の市教研研究大会「生活科・総合的な学習の時間」部での発表、11月18日の研究委嘱発表に向けて、これまでのアクティブ・ラーニングやプログラミング教育の研究成果を活かし、コミュニティ・スクールを見据え、地域・家庭と連携・協働しながら、「よさを伸ばし、意欲をもっていきいきと取り組む子どもの育成」を研究主題として、カリキュラムマネジメントの研究、アクティブ・ラーニングの推進、STEAMS教育の実践に取り組む、研究を深めたい。